



高1 職員室直通 052-721-5274 事務局・学校代表 052-721-5271
http://www.meigaku.ac.jp

2014年度
名古屋高等学校
高一学年会
毎週火曜日発行
3月17日
第34号

「ふたぎの独り言」

高校1年生もうすぐ終わる。この1年間を振り返って自分がどれだけ成長したのかをしっかりと評価すべきタイムングだと思ふ。

よく大人は、“あれやれ” “これやれ” と大人の目線を基準にものをいう。ただ、これからのような未来が待ち受けているか誰もわからない君たちにとっては、大人目線での発言に対して腹を立てたりすることは多々あるのではないだろうか。その感覚は間違っていない。むしろ正しい。けれど一方でこれから将来に向けて歩いていく君たちは、人生の先輩たちからの言葉に耳を傾けないことは考え直した方がよい。少なからず君たちがこれから歩いていこうとする道をもうすでに歩んだ者が大人たちなのだから。

“勉強しろ” などというフレーズは、きっとその大人がこれから将来のある君たちに対して有益な事と思っで発している言葉のほずである。

今の経済・社会を見てもわかるように、必ずしも明るい未来が待ち受けているとは限らない。であれば、大人は子供たちに対して少しでも幸せになつてほしい。正確にいうと不幸になつてほしくないと願うばかりである。そうすると、“リスク”を嫌い、確実な道を歩ませようとするはずである。

でも、人生は何が起こるかわからないもの。そもそも常に将来に向けて歩んでいること自体が“リスク”を伴っていると考える。であるならば、“リスク”を回避するような姿勢こそ将来のある君たちにとってスケールの小さな人生にさせてしまふのではないかと不安に思ふ。

もつともつと君たちは積極的にチャレンジすべき。失敗を恐れずに突き進んで欲しい。不安や心配があるならばそれだけ求める将来や夢が大きいことの証拠。

私はこう考える。リスクを嫌ってチャレンジできない人間ほど一番リスクを抱えている。むしろ大きな目標を掲げてチャレンジできる人間ほど、リスクに対して真剣に考えて、必ず成功までのプロセスを導き出せるのだと。

しっかりと将来に向け、自分の可能性を最大限引き出すために、大きな目標を持ち、その目標に向け真剣に考え、行動して欲しいと思ふ。将来の道を切り開くのは間違ひなく自分なのだから。

チャレンジこそ、自分を成長させる！

医学部・難関大学進学講座(土曜講座)

受講者募集中

これまで開講してきた「医学部・難関大学進学講座」に引き続き、新年度4月18日(土)から「医学部・難関大学進学講座(土曜講座)」を開講します。この講座では、実績のある実力派現役予備校講師が授業を行い、医学部・難関大学進学志望者に対して実力養成をはかります。医学部・難関大学に現役で合格することを目標にしている人は、日常の授業・進学講座に加えて受講を考えてみてください。

なお、この講座は今後も継続して3年生の2学期まで実施する予定です。詳しくは案内を見てください。今回からの受講も可能です。受講料は、英語・数学2教科のセットで、消費税 教材費込みで 36,000 円です。1 教科のみの受講(受講料は 18,000 円)も可能です。

申し込み締め切りは4月10日(金)です。申込書と案内は松原先生から受け取ってください。

○休業土曜の午前は特別講座を実施

講座期間中の休業土曜日の午前中には数学、英語などの特別講座を実施します。

.....

【吹奏楽部定期演奏会のご案内】

※是非多くの皆様にお越し頂きたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

日時：2015年3月28日(土)午後2：30開場 3：00開演

場所：名古屋学院 クライム・メモリアル・チャペル

曲目：マードックからの最後の手紙、ローマの祭り、タイム・トウー・セイ・グッバイ他

主催：名古屋中学校・高等学校吹奏楽部

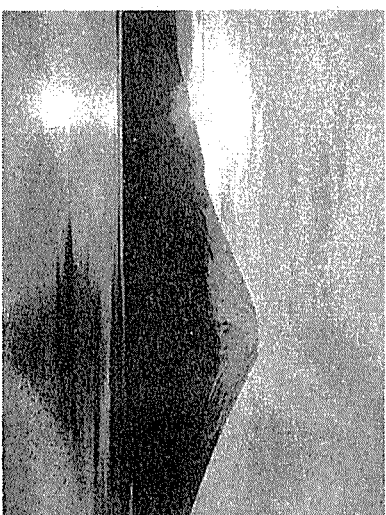
.....

今後のスケジュール

03/19(木)自宅学習日 ※中学卒業式
03/20(金)終了式

2015年度スケジュール

04/06(月)入学式
04/07(火)始業式
04/10(金)スタディーサポート/PTA 学年集会
04/11(土)学校休業日



次年度 希望者対象 「小論文対策」 についてのお知らせ

次年度のお知らせ第1回でお知らせしたように、次年度から、「小論文対策（希望者）」が行われます。

- 1、授業後の進学講座
- 2、小論文模試

という形式で行われます。

まだ「案」の状況ではありませんが、日程は以下のように考えています。

- 4月～ 小論文対策募集開始（小論文対策講座および小論文模試の紹介）
- 6月 第1回小論文模試
- 8月 第2回小論文模試
- 12月 第3回小論文模試
- 2月 第4回小論文模試

さて、今回は、2013年度入試の小論文試験について具体的に紹介します。

- 筑波大学・人文・文化学群・人文学類（後期試験）

自分を組み替える能動的読書について論じた文を読んで論じた文を読んで要約を行い、自身の読書経験や大学での抱負を述べる。(1200字)

- 大阪大学・文・人文（後期試験）

「展示する」という行為をテーマとして、展示するという行為が持っている意味について具体例を挙げて書く。(800字)

- 北海道大学・法・法学（後期試験）

イラク戦争の正当性を巡る2人の人物の主張を述べた文より、人道的介入としての戦争の正当性などを論じる。(800字)

- 熊本大学・理・理（推薦入試I）

これまでに一番興味を持った定理・法則などを挙げ、その内容の説明と興味を持った理由を述べる。

- 宮崎大学・工・情報システム工（推薦入試セ）

大規模災害への備えとして情報科学技術をどのように活用するか、アイデアとその効果を述べる。(800字)

以上、ほんの一部ですが、学部学科によって色々な出題テーマがあります。しかし、共通していることは、その大学で何をしたいのか、どのようなことに興味があり、そして、そのことに対してどのような考えをもっているのか、ということが強く問われるということです。対策や基礎知識なしに小論文を書くことは難しいものだと思います。

高校2年生となる今、自分の将来についてより具体的に考えてみましょう。